

圧巻です イワヒバのある光景

コスモス惣領店南側の細い路地を東に歩いて行くと、第九番札所の「惣領観音堂」があります。「おかのんさん」と呼び親しまれており、惣領2町内の人たちにより清掃管理が行き届いています。手を合わせてお参りをし、さらに東へと進みます。

観音堂の参道脇で見事なイワヒバを栽培している坂口幸人さんに出会いました。イワヒバは枝葉がヒノキに似ており、別名を「イワマツ」とも呼ばれます。それにしても、坂口家の庭に所狭しと育つイワヒバの数は圧巻です。

「35年ほど前からイワヒバを育て始め、挿し芽で増えると聞いて夢中になって栽培したらご覧の通



惣領2町内に佇む「惣領観音堂」



上/坂口さんの庭で栽培されている見事なイワヒバ群



左/仲良く縁側でくつろぐ坂口さん夫婦



庭先でイワヒバの手入れをする坂口さん



コマや竹細工のトンボは器用な坂口さんの手作り

り。ざっと500鉢はあるでしょうか」と苦笑いの坂口さん。坂口さんは以前、自動車の査定士をしていました。16年前に定年を迎え、勇退後は趣味に没頭する日々だそう。イワヒバの栽培はもとより、魚釣り、ゴルフ、近年はスポーツ吹き矢を楽しむなど、「ポーツとしている暇がなかです」と坂口さんは笑います。

手先の器用な坂口さんは孫たちのために小さなコマを作ったりもするそうで、竹細工のトンボなどは工芸展への出展を薦めたくなる出来映えです。妻のマサ子さんは

「バターナイフやヘラなども作ってくれるんです。夫はとても器用で、丁寧な仕上げに私も娘も満足しています」と笑顔で応えます。

♪日輪はあ 阿蘇より出でて♪

秋津川に架かる惣領橋を渡って向かったのは、益城中です。昭和23(1948)年創立で、今年で75周年を迎えます。

♪日輪は阿蘇より出でて 天がける光のもとに 輝きてそびえて立ちぬ おお益城 燦たる偉容 お



上/益城中生徒会執行部の皆さん。3年生が6人、2年生は3人です
左/地震後、再建された校舎で生徒たちは学んでいます



お益城 我らが母校 栄光よ益城と共に♪

創立時に益城中の教師だった林田俊信氏が作詞・作曲したこの校歌を「今でも最後までしっかりと歌える」という卒業生も多いのではないのでしょうか。

その日、5〜6時間目を使って全校生徒による生徒総会が開かれました。特別に許可をいただき、総会の様子を拝見。生徒会では18もなる委員会が結成されており、それぞれの年間活動報告がなされると、活発な質問や要望などが寄せられました。